

私立大学情報教育協会
平成24年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース

A班1グループ Team Dragon

テーマ1

責任ある情報を
公表するための
職員の役割

情報を公表する意義、目的

- 公表の意義、目的
 - 選ばれる大学になる。
 - 入学後のミスマッチを無くす。
 - 学内、学外を問わず、現状を知ってもらう。
 - 親近感、親しみを持ってもらえるようにする。
- 「公開」でなく、なぜ「公表」なのか
 - 公開は責任を果たすための最低限の情報を開示する。
 - 公表は戦略的な情報を提供する。

情報公表の現状分析

- 各大学は、強みや弱みをどのように公表しているか？
 - 教職員、学生によるブログを通じ、生の声を伝えている。
 - 国際化に対応すべく、多言語によるWebページを提供。
 - 地域社会への貢献活動をPRしている。
 - 不祥事のお詫びを掲載すると共に、今後の対策を提示している。

情報公表を通じた社会へのアピール

- 弱みを公表しなければならない広報チーム
 - 隠すことのデメリットを考慮すると、隠さずに公表することが望ましい。
- 何を指すのか？目的は？
 - 正確な現状と適切な対策を明示し、誠実な対応をアピールする。
- 具体的な公表の内容（プラン）を考える。
 - 最適な公表手法（Web、書面、報告会等）の選定を行う。

情報公表にあたっての職員の役割

- 私たち職員に求められる役割
 - 情報をまとめる
 - 受け手のニーズ分析を行う。
 - 公表する情報の調査を行う。
 - 意志統一
 - 教員への働きかけを行う。
 - 公表の手段・方法・運用
 - 最適な公表手法（Web、書面、報告会等）の選定を行う。
 - 更新、メンテナンスを行い情報公表を恒常化する。

テーマ2

学士課程教育の 質的転換を図るための 職員の役割

教育の質的転換の必要性

- 社会は「向上心を常に持ち続け、協調性を持って仕事に臨む人材」を求めている。
- 大学は上記のような人材を育成できていないのが実情である。
- 社会の求める人材を育成する為に、教育の質的転換が必要とされる。

教育の質的転換のための準備

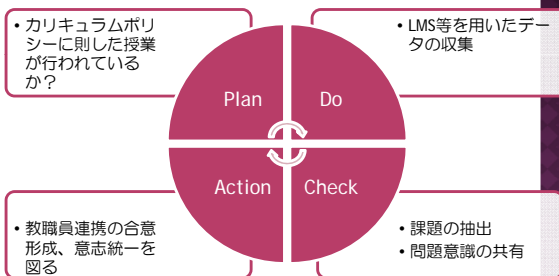
- 職員
 - データ、現状を把握しておき、問題提起、働きかけを行う。
- 教員
 - 問題意識を共有する。
- 合意形成、意志統一
 - 議論の場を設ける。
 - 求める人材像に向けてのポリシーを再考する。

教育の質的転換のためのICT活用

- LMS等のシステムを用い、授業評価アンケートを行う。
- システムをコミュニケーションツールとして活用し教員と学生と職員の情報共有を行う。
- ICTを活用した相互評価を行う環境作り。

教育の質的転換に職員の果たす役割

- 社会の求める人材を育成する為に、ICTを活用したPDCAサイクルを構築する。



全体を通じてのまとめ

- 情報公表と情報活用に共通する、職員としてあるべき姿勢。

